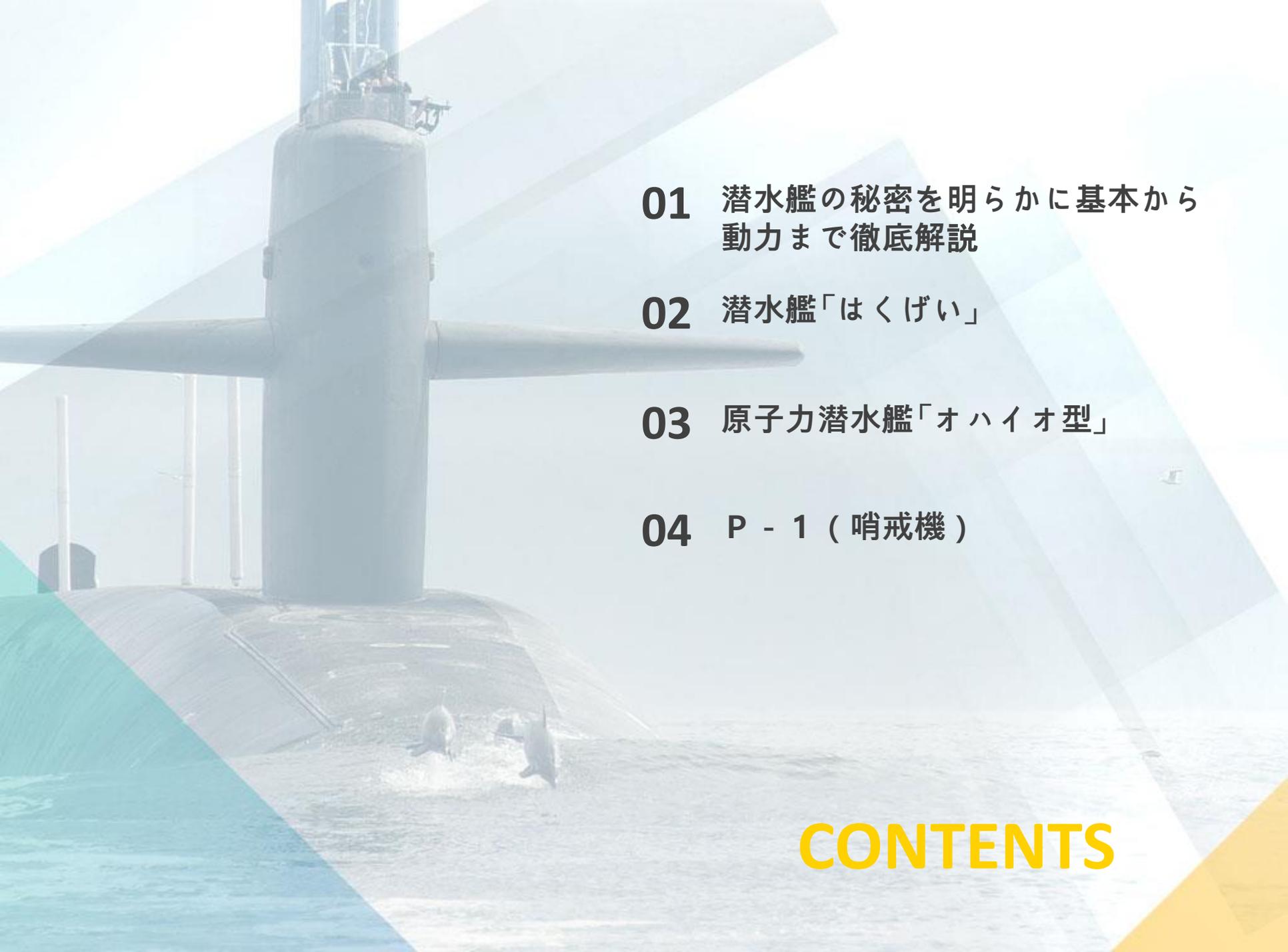


潜水艦の秘密

さつま上方ビジネス交流会
会長 松崎 昭



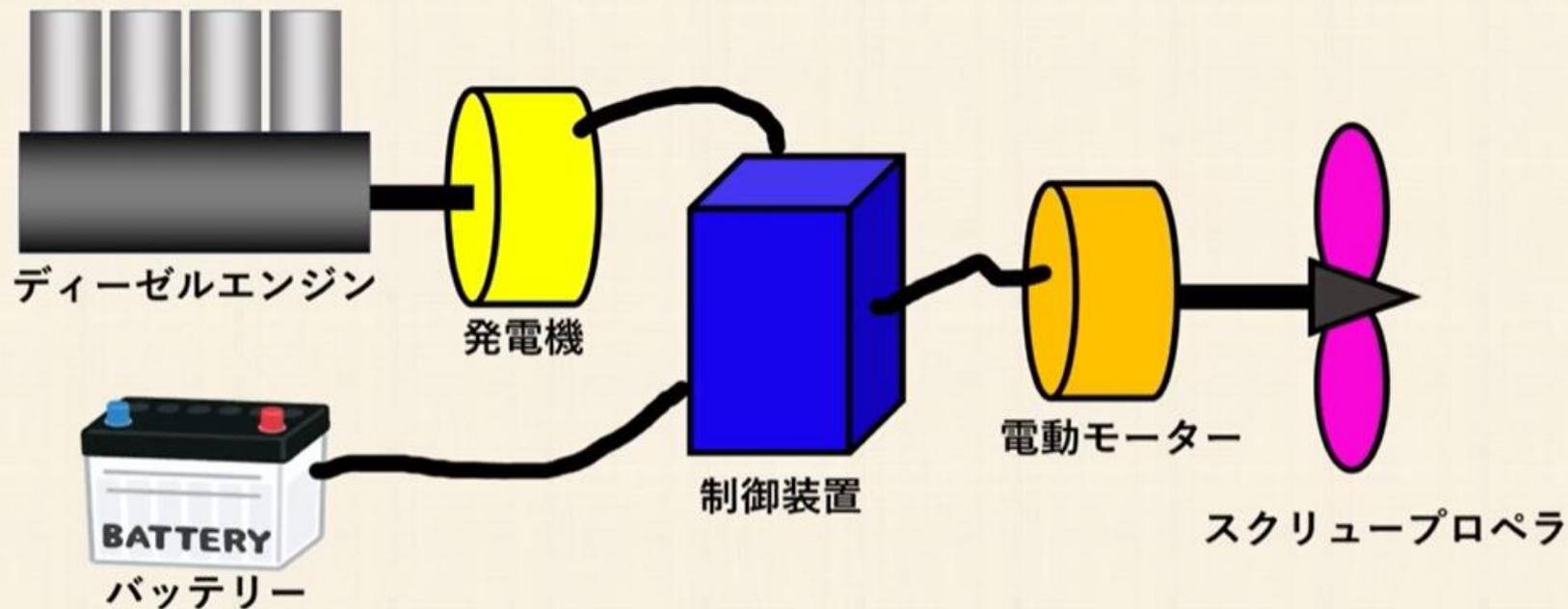
01 潜水艦の秘密を明らかに基本から
動力まで徹底解説

02 潜水艦「はくげい」

03 原子力潜水艦「オハイオ型」

04 P - 1 (哨戒機)

CONTENTS



なお、第二次世界大戦ごろまでの潜水艦はディーゼルエンジンのクランクシャフトとスクリーンプロペラが物理的に接続されていましたが、現代の潜水艦はエンジンとスクリーンはシャフトで繋がっていません。海上でも海中でも最終的にスクリーンプロペラを回すのは電動モーターです。

潜水艦「はくげい」

はくげい



母港呉に初入港する「はくげい」（2023年4月7日）

基本情報

建造所	川崎重工業神戸工場
運用者	 海上自衛隊
艦種	通常動力型潜水艦
級名	たいげい型潜水艦
建造費	720億円
母港	呉
所属	第1潜水隊群第1潜水隊

艦歴

発注	平成30年度
起工	2019年1月25日
進水	2021年10月14日
就役	2023年3月20日 ^{[1][2]}

要目

基準排水量	3,000トン
長さ	84m
幅	9.1m
深さ	10.4m
機関	ディーゼル・エレクトリック方式 リチウムイオン電池
推進器	スクリュープロペラ × 1軸
潜航深度	未発表
乗員	70名
兵装	HU-606 533mm魚雷発射管 × 6門 18式 魚雷 ハーブーン
C4I/STAR	OYX-1 情報処理サブシステム ZQX-12 潜水艦戦術状況表示装置 潜水艦情報管理システム 基幹ネットワークシステム
レーダー	ZPS-6H 対水上搜索用 × 1基
ソナー	ZQQ-8 統合式
探索装置	非貫通式潜望鏡
その他装置	
電子戦	ECM
対抗手段	
その他	TCM（潜水艦魚雷防御システム）

原子力潜水艦「オハイオ型」

オハイオ級原子力潜水艦



艦級概観

艦種	戦略ミサイル原子力潜水艦・巡航ミサイル原子力潜水艦（1～4番艦、後日改装）
艦名	州名。5番艦のみ人名。
建造期間	1976年 - 1996年
就役期間	1981年 - 就役中
前級	ベンジャミン・フランクリン級
次級	コロンビア級（計画中）

性能諸元

排水量	水上：16,764t	
	水中：18,750t	
全長	170.67m	
全幅	12.8m	
吃水	11.1m	
船体構造	単殻式	
機関	原子力蒸気タービン推進 (60,000 shp)	
	GE社製S8G加圧水型原子炉	1基
	蒸気タービン	2基
	スクリュープロペラ	1軸
速力	公表値：水中20ノット	
	推定値：水中24ノット+	
潜航深度	最大300m程度？	
燃料棒寿命	10～15年	
乗員	156名	
探索装置	BQQ-6 パッシブソナー	
	BQR-15 曳航ソナー	
	BPS-15A 対水上レーダー ※BPS-16に換装されたとの情報もあり	
兵装	533mm水圧式魚雷発射管×4基	
	5番艦以降	
	トライデントC4 トライデントD5 SLBM×24基	
	1番艦～4番艦	
	トマホーク SLCM ×22基 (Mk 45 VLS)	

P - 1 (哨戒機)



- 用途：対潜哨戒機
- 製造者：川崎重工業
- 運用者：  日本 (海上自衛隊)
- 初飛行：2007年9月28日
- 生産数：34機^[注1]
- 運用開始：2013年3月29日
- 運用状況：配備中



ご清聴ありがとうございました